

川南町バイオマス産業都市構想の概要

宮崎県川南町、人口 約1.5万人、面積 約9,000ha

構想の概要

地域の木質バイオマスと家畜ふん尿等の廃棄物系バイオマスを活用した再生可能エネルギー利用を推進することにより、農業の活性化、産業振興と雇用の創出を図り、環境にやさしく災害に強い、地域資源循環型社会の構築を目指す。

1. 将来像

- ①町内の森林資源の持続的な面的活用と豚ふん尿や食品加工残渣の処理とエネルギー利用システムの構築の推進
- ②再生エネルギーを利用した自立・分散型エネルギーシステムの導入による災害に強いまちづくり
- ③資源の有効活用による地球温暖化防止と循環型社会構築

3. 目標（10年後）

【バイオマス利用率】

- 未利用バイオマス: 100%
圃場残渣100%、木質バイオマス99%
- 廃棄物系バイオマス: 99%
家畜排せつ物100%(牛ふん尿100%、豚ふん尿100%、鶏ふん100%)、食品残渣76%、汚泥99%

4. 地域波及効果

- ①経済波及効果 0.68億円
- ②雇用の創出 2.5人
- ③温室効果ガス(CO₂)排出削減量 290t-CO₂/年
- ④防災・減災対策
- ⑤森林保全

2. 事業化プロジェクト

(1)木質チップ面的活用プロジェクト

- ①森林資源の持続可能な町内利活用のベース構築
就農支援施設トレーニングハウス、川南PLATZ(東九州自動車道PA)のシャワー設備給湯ボイラーへ地域材由来の木質チップの燃料供給を行う
- ②森林資源の町内面的利活用
①の木質チップをフルーツ園芸農家、老健施設へ燃料供給を行う

(2)メタン発酵ガス化プロジェクト

地域課題廃棄物処理と災害時エネルギー活用を両立させるシステムの検討

5. 実施体制

- 川南町バイオマス産業都市推進委員会(仮称)を設置
- 民間事業者・森林組合・関係機関等が連携して事業化プロジェクトを実施

6. その他

- 第6次川南町長期総合計画(2021年度～2030年度)
- 分散型エネルギーインフラプロジェクトマスタープラン(2016年度)